ちゝのかゝりたまふ
たゞ
風臭ちゝ八幡

へ13
3732
8

厚化粧萬年嶋田

初編より遅滞なく早々出板仕ハ

爲永春水作
梅蝶樓國貞画

這ハ世ゑ普く沙汰せらるゝ姐己阿百ゞ傳ゆゑ是ハ和尚奥の悪霊實緣芦田の家ゆ仇做人とも爰ゆ忠臣孝女ありて渠ゆ毒手ゆ苦しめられる衣ゑ迷ゆゑ花ゑ迷ゆる宜く理の法ゑ草双紙よみ

板元 紅英堂謹言

本家

實母散

さんぜんさんごふ一切の妙薬

私方実母さんの義ハ中ごろ一町一丁目西ゝ年来賣弘メ来店を毎ゝ分式ゝ買ひ求ひらく引ゝ十ゆるゝふゆ拾ゆ有ゆ向ゑ板上ハ

中橋南傳馬町一丁目東ゝ
千葉堂孝輔製

新局九尾傳

四編より
九編まで
出板仕ハ

爲永春水作
梅蝶樓國貞画

鼠祠通夜譚

初へんより
卯春新ちん
追々出板

柳亭種彦作
梅蝶樓國貞画

信州鼠の里なる和泉小僧と云少年鎌倉殿の昵近三浦二階堂其餘諸大家ゆて許多の財寶を盗ミ名を高くせ一物語耳新一死奇聞和州山辺氏の與廢の事蹟ゆ綴合せ〻るゝ預高評を希ふ

門 へ13
請 3732
番 8

七不思議
葡萄
物語
八編下
國貞畫
八編上

利根ある者が馬鹿なるものの頭巾を脱ぐ實名あり馬鹿なる者の利根なるものの他いろ〳〵ぞ吾著述博識めかし〳〵虚氣なる我い化と思ふも釣狐の叔父坊主戯作の輪宛よ羅てみそらくわど學者の顔〳〵そそ誰人欺さるとさまへべき譬へば男の女容ハ男と思ふと春情動き女が奴よ剃毀し擯梟禪でハ真平ゑ〳〵し三十年の昔々京都ハお山重とそ野郎頭よ簪さ〳〵て内輪歩行の壮夫あり其後和屋よ武三さんとそ男をこんまび側目〳〵て語言婦よ露異らぞ是等も又ゑ〳〵〳〵近頃女の男と又ぞもあれど憚ゑまび いとそぞ取交もの物語古〳〵れと復書出さ困ハ男女の比諭よ及べど未繪草紙よ見馴ぬとて半之愈を半月の妖物ゆ〳〵て女男の對よ〳〵〳〵餘りハ馬鹿〳〵面目ゑ〳〵顔を包む頭巾とそ被らぞ〳〵けれ

慶應丁卯開版

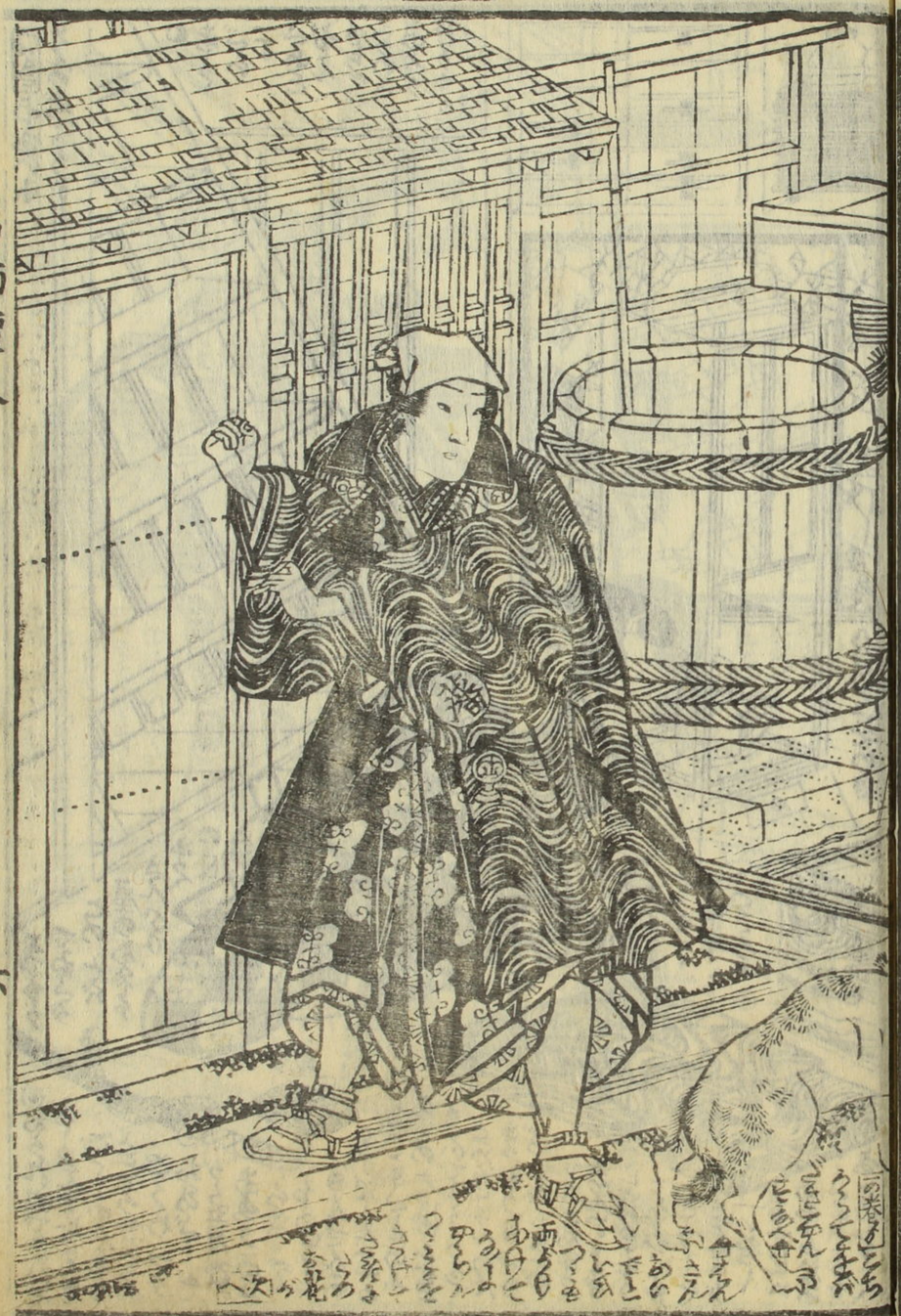
石濱城主千葉家養子
多與二郎
和胤

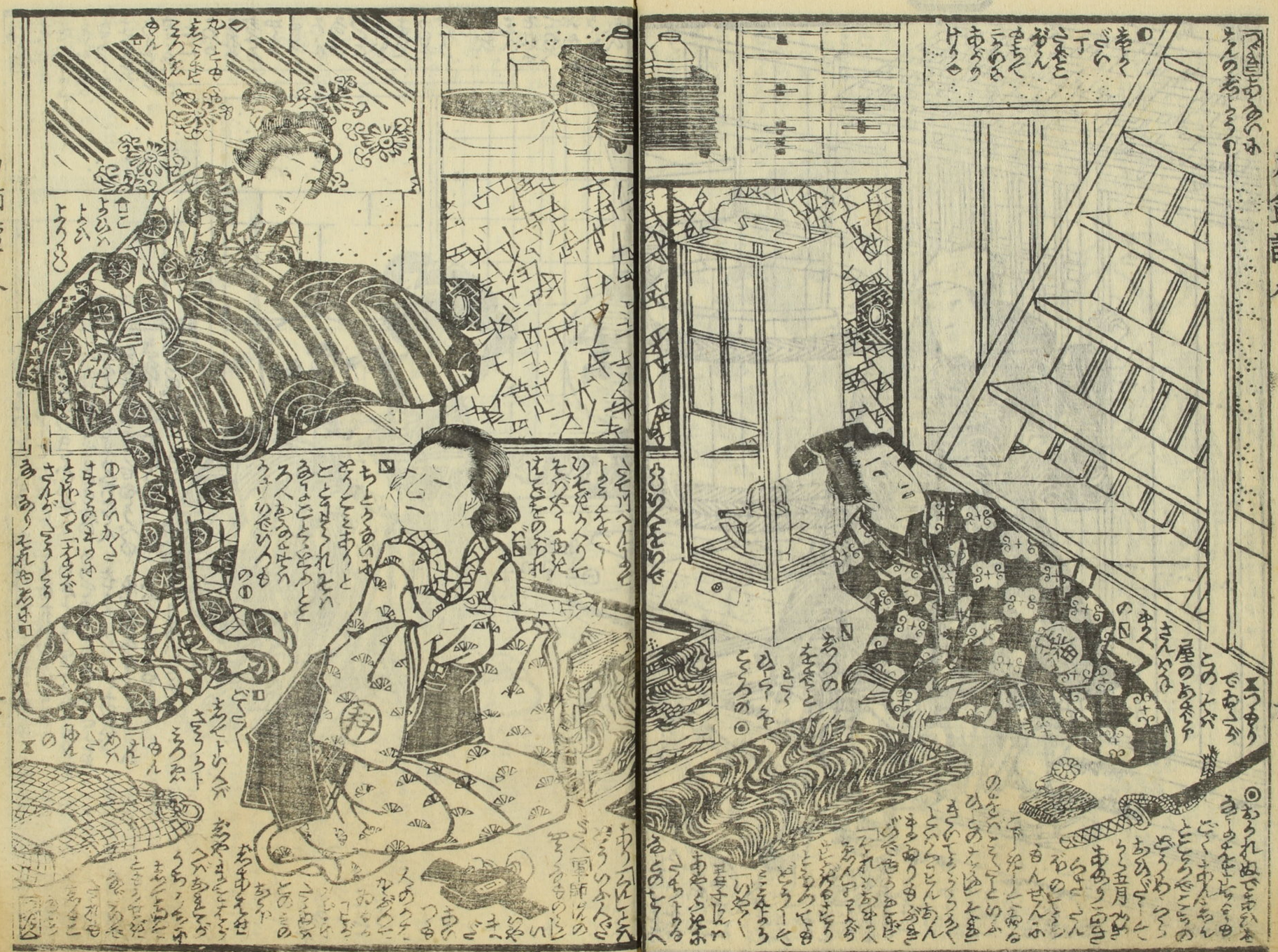
賛の句い
古人の
もり

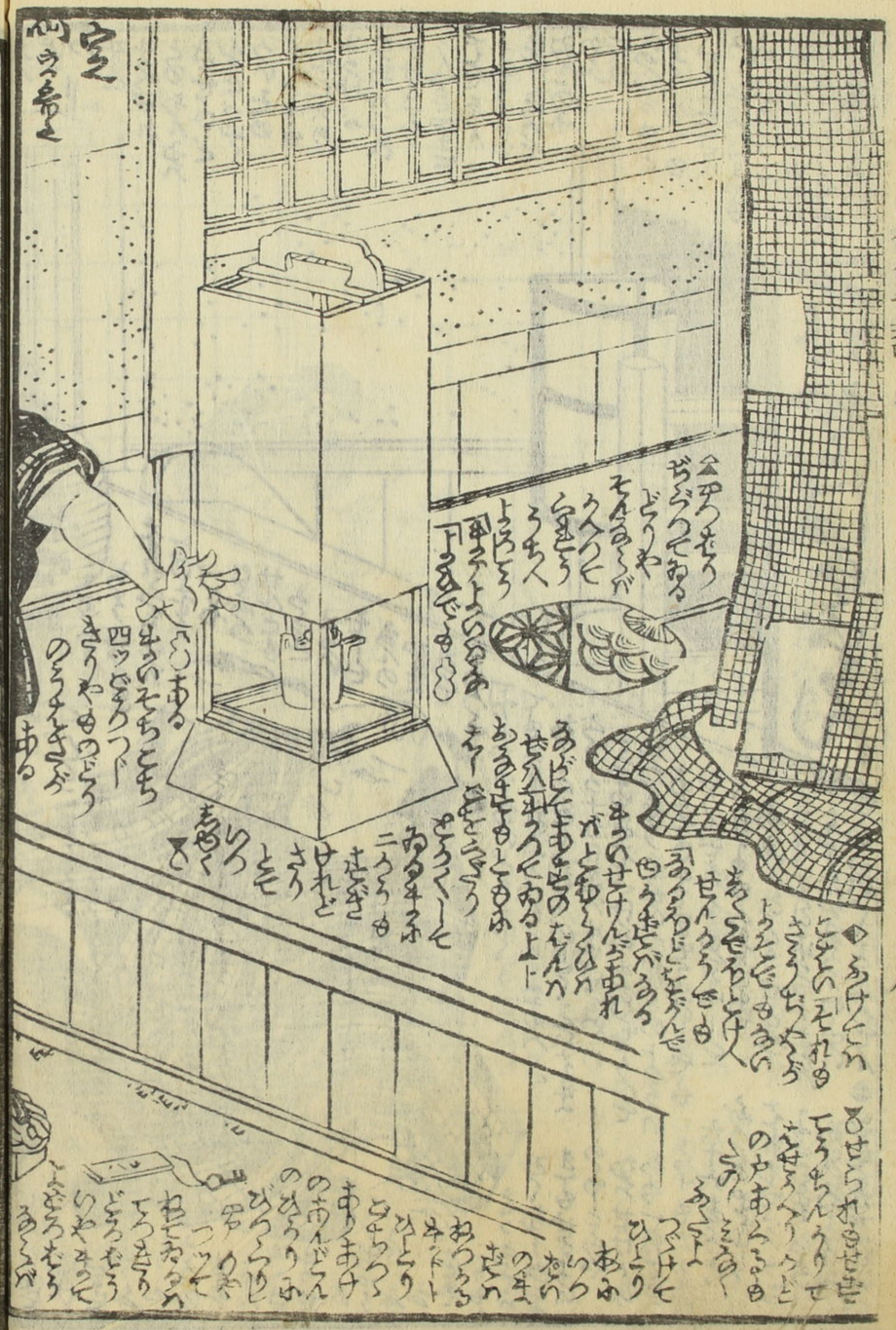
牧折
蔽牛

同
息女
竹姫

風帳







三
東京
武士の名も
恵
後の
つづき

花
粋
雀

花
蜜

花

三礼庄蹴
六

白

竹
梅

慶應三丁卯陽春開板標目

七変化き葛飾譚 六編 柳亭種彦作 九編 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷 九編 種彦作 十二編 國貞画

假名情談恋の蛙合 四編 如皐作 大毛國貞画

童謡妙々車 十一編 種彦作 十三編 國貞画

薄倖幻日記 十六編 春水作 十七編 十八編 國貞画

筆海四國聞書 十編 種彦作 十二編 國貞画

明鶴墨画迎福 十二編 種彦作 十四編 國貞画

花封名主章 十編 種彦作 大尾 國貞画

犬傳犬の双紙 四十八編 柳亭録 四十九編 國貞画

地本双紙問屋 南傳馬町壹丁目 鶴屋吉蔵板